

海外文学講座

美味しいものから広がる 児童文学



物語に出てくる食べ物はどうしてあんなに食べたくなるの？

バタつきパン、プーのはちみつ、クランペット、クリスマスプディング…
児童文学には美味しそうなものがたくさん登場します。
中にはあぶらみプディング、羊の胃袋に内臓を詰めたもの—なんて
ちょっと不気味に思えるものも。そんな「美味しいもの」をキーワードに
大人から子どもまで楽しめる児童文学を紹介します。

開催日 令和2年 **10** 月 **11** 日(日)
時間 午後 **2** 時～午後 **3** 時**30**分 (開場は午後 1 時45分)
会場 平和台図書館・3階会議室
定員 15名
申込み **9**月**25**日(金)から受付開始
カウンターまたは電話 ※先着順



- ・マスク着用のうえ、ご参加ください。
- ・発熱やせきなどの症状がある場合の参加はお控えください。
- ・当日は検温を実施させていただきます。入室時の体温と健康状態によりましては参加を見合わせていただくことがありますので予めご了承ください。
- ・状況により中止・または延期する場合がございます。



さんべりこ
三辺 律子氏

英米文学翻訳家。主に児童書、青少年向け図書を中心に訳す。
主な訳書に『龍のすむ家』シリーズ、『モンタギューおじさんの怖い話』、
『ジャングル・ブック』、『パディントン、テストを受ける』『月のケーキ』、『夜フクロウと
ドッグフィッシュ』、『ロビン・フッドの愉快な冒険』(光文社古典新訳文庫)など。
共著に『12歳からの読書案内 海外作品』『今すぐ読みたい! 10代のためのYAブック
ガイド150!』、『13歳からの絵本ガイド YAのための100冊』など。
親しみやすい海外文学を紹介する小冊子『BOOKMARK』の共同編集者。

問合せ 平和台図書館 TEL 03-3931-9581